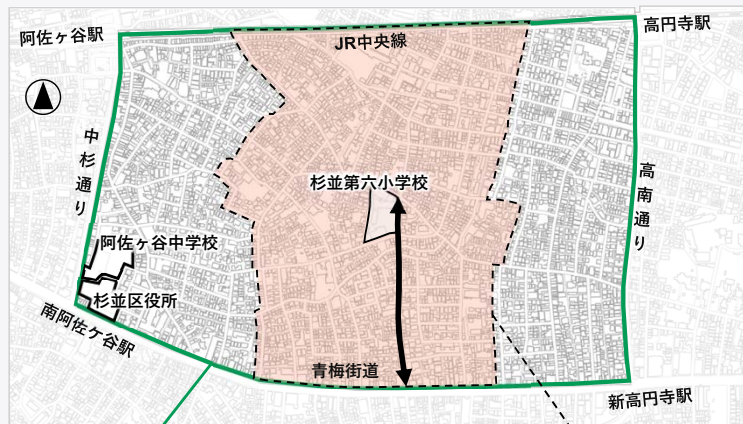


お知らせ

解体・新築の助成制度

当地区内で解体・新築する建築物の所在に応じて、以下のような助成がございます。
なお、助成には諸条件がございますので、詳しくは以下のお問合せ先までご連絡ください。



A 不燃化助成対象区域(阿佐谷南・高円寺南地区)

- 耐火性能が高い建築物の**新築**
- 耐火建築物等 定額250万円
 - 準耐火建築物等 定額100万円

B 不燃化特区

- ①老朽建築物の**解体**
最大150万円
- ②耐火性能が高い建築物への**建て替え**
- 設計費及び工事監理費 定額100万円
 - 建築工事費(耐火性能と延床面積による)
準耐火建築物100㎡の場合：70万5千円

②は①の申請を行った方による、同じ土地での建替えが対象。
解体後の建替えで①②併せての助成が受けられます。



助成制度の詳細を
確認できるHPはこちら

公園・広場用地の情報提供

阿佐谷南・高円寺南地区では、公園の新規整備に取り組んでいます。上図の**不燃化特区**の区域内で、土地の売却等のご予定があり、区の事業に協力して頂ける方がいらっしゃいましたら、ぜひ以下のお問合せ先までご連絡ください。

公園・広場用地には諸条件がございます。**まずはご相談ください！**



お問合せ



杉並区都市整備部市街地整備課不燃化推進係
電話：03-5307-0316 (直通)



詳細は
HPで確認！



阿佐谷南・高円寺南地区防災まちづくり 検索

阿佐谷南・高円寺南地区

防災まちづくりニュース

No.
32

このニュースは、青梅街道・JR中央線・高円通り・中杉通りで囲まれた、阿佐谷南・高円寺南地区の方を対象に配布しております。

当地区の防災まちづくり事業を**延伸**します！

○経緯

当地区では平成12年に防災まちづくり協議会が発足され、平成14年に協議会から基本構想の提出を受け、平成21年に防災まちづくり計画を策定しました。

この計画を受け、地域住民と協力してまちづくりを行うために、平成21年にまちづくりを進める会を発足しました。また、平成22年には国や都の補助事業（以下「密集事業」という）を導入し、地区の基盤整備を進めています。

○計画内容

この計画は、暮らしやすく災害に強い安全なまちづくりを目的としており、道路拡幅や公園の整備等を地域と協力しながら進めています。

○今回のニュース

今年度は、上記密集事業等の最終年度となっていました、今後も整備を図る必要があるため、**事業を5年間延伸し、令和11年度まで実施します。**

そこで今号では、これまでのまちづくりの取り組みなどについてご紹介します。

防災まちづくりの取り組み

Start!!

平成21年
まちづくりを進める会発足
防災まちづくり計画策定

平成22年
密集事業の開始



平成24年
不燃化助成制度の開始
最初の馬橋通り拡幅整備

平成26年
不燃化特区に指定 解体・新築助成開始



平成30年
馬橋通りのカラー舗装・イメージハンプ整備

平成31年
馬橋ほんむら公園 開園



令和2年
密集事業を5年間延伸
(令和2年～令和6年)

令和5年
馬橋えんがわ公園 開園



令和7年～令和11年
事業を5年間延伸



これまでの取り組みの詳細は次のページへ！

これまでの取組み

取組みの一部を紹介します！



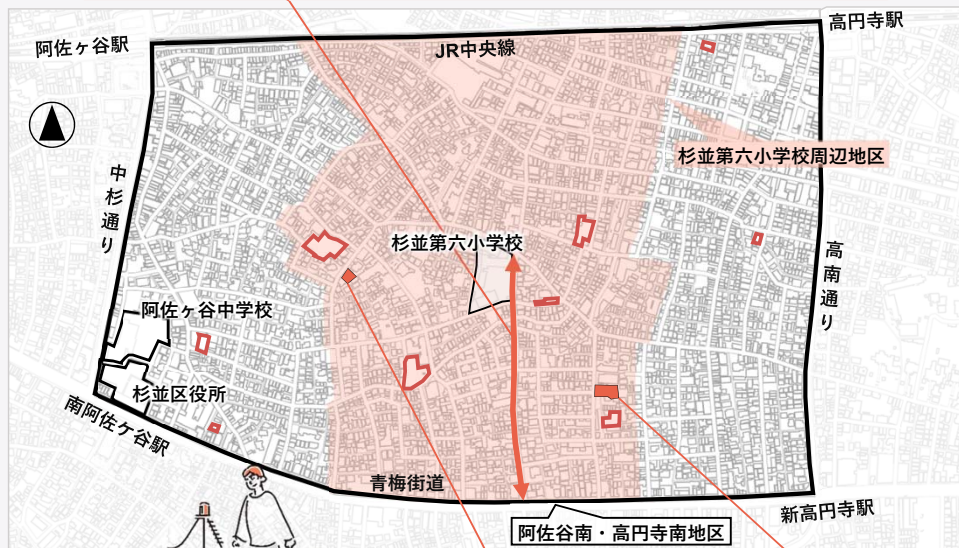
基盤整備

災害時の消防活動や避難を容易にし、延焼を抑えるために、道路の拡幅・公園等の新規整備・狭い道路拡幅の促進・長い行き止まり道路の解消等に取り組んでいます。

道路拡幅

当地区では、震災時に消防車が円滑に通行できる幅員の道路が不足しているため、消防活動が困難な区域が存在します。これを解消するため、馬橋通りの杉並第六小学校より南側の道路を6.5mに拡幅する事業を行っております。

これまで、沿道建物の建て替え等の際に交渉を行い、10箇所の拡幅整備を行いました。



公園整備

当地区は区内でも1人あたりの公園面積が少なく、公園整備が必要な地区となっています。これまで、地区の地権者の協力のおかげで、2箇所の公園整備を行いました。これらの公園にはかまどベンチや深井戸等の防災施設を設置しました。



まちづくりを進める会の活動

平成21年より地区の防災まちづくりに関する活動を行っており、区も活動の支援を行っています。これまでに63回の話し合いを行い、防災マップ作成・講演参加・防災まちづくりイベント・他自治体見学等を行っています。



新たな防火規制と助成制度

平成16年から本地区のほぼ全域に、新築の際に原則準耐火建築物以上の耐火性能が求められる規制がかかっています。また平成24年より、延焼しにくい建物の建築や古い建物の解体等への助成を行っています。

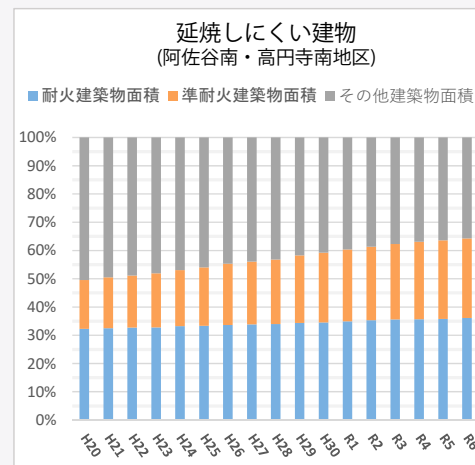
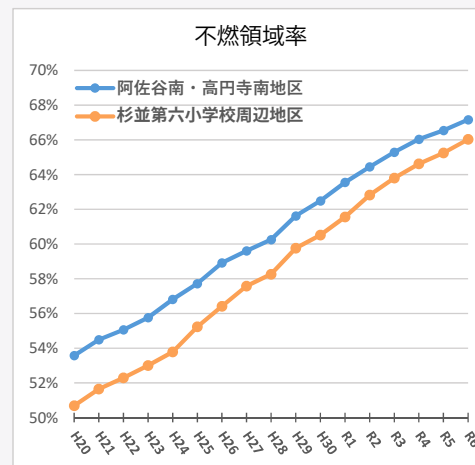


成果

これらの取組みにより、地区内の空地や延焼しにくい建物が増えたため、市街地の「燃えにくさ」をあらわす指標である不燃領域率が上昇しています。延焼しにくい建物(耐火・準耐火建築物)の比率は以下のグラフのように上昇しています。

これらは他区と比べても、区内の他地区と比べても、早いスピードでの上昇となっています。

また、東京都が公表している地震に関する地域危険度では、阿佐谷南2丁目と高円寺南2丁目の総合危険度ランクが改善されています。(H30とR4の比較)



これからの取組み

不燃領域率や地域危険度は改善に向かっておりますが、目標としている不燃領域率70%(焼失率がゼロにほぼ近づくとして)に向けて引き続き防災まちづくりに取り組んでいく必要があります。つきましては、引き続き馬橋通りの拡幅・公園の整備等を行う為、計画を延伸します。また、来年度は助成制度の設計に向けて、地区の皆様と話し合いを行う予定です。

